



# にこにこ通信

H23.9.15 発行

配布場所：JR大森駅（火曜日）  
JR大井町駅（木曜日・金曜日）  
発行者：品川区議会議員 こんの孝子



※議会の都合などにより、予定通り配布できない場合があります。ご容赦下さい。郵送ご希望の方は、お気軽にお声をおかけ下さい！

連絡先 TEL03(5742)6817/FAX03(3774)3366  
Eメール t.konno@shinagawa-komei.org

## 品川区 大気中の放射線量

品川保健センター 荏原保健センター  
(北品川3-11-22) (荏原2-9-6)

9月 5日	0.069	0.057
8月 29日	0.073	0.058
8月 22日	0.071	0.061

単位：μSv/h（マイクロシーベルト毎時）

この測定値は、1年間その場所に居続けた場合として換算すると品川保健センターでは0.604ミリシーベルトとなり、荏原保健センターでは0.499ミリシーベルトとなります。これは国際放射線防護委員会の勧告「平常時は年間1ミリシーベルト（=1000マイクロシーベルト）」より低い数値となります。（品川区HPより）

## “救急医療情報キット” 一人暮らしの **もしも** の備えに！

区では、自宅で救急車を呼ぶような「もしも…」の時に、あなたに代わって救急隊員へ、「かかりつけ医」や「服薬内容」などの医療情報を伝える救急情報の活用支援事業を行っています。

### 救急医療情報キットとは？

救急時に必要な「かかりつけ医療機関」「服薬内容」「持病」などの情報をキットの中に入れ、自宅の冷蔵庫に保管して置くものです。

キットの中に入れる主なものは、

- ①救急情報用紙
- ②健康保険証のコピー
- ③診察券のコピー
- ④お薬手帳のコピー
- ⑤写真（本人確認できるもの）



お申込み窓口は、各町会です。ご希望の方は、町会へお申込み下さい。

## 命を救う3原則

先月、今回の東北大震災において釜石の奇跡で有名な、群馬大学院教授 片田敏孝教授の講演を受講しました。テーマは「大津波から生き抜いた釜石市の児童・生徒の主體的行動に学ぶ」。

片田教授が釜石市の子どもたちにした津波防災教育は…

### 『想定にとらわれるな！』

ハザードマップに示されるような浸水想定区域は、あくまで防災施設を建設する際の“想定外力”であって、それ以上の災害が起こる可能性があると思え！

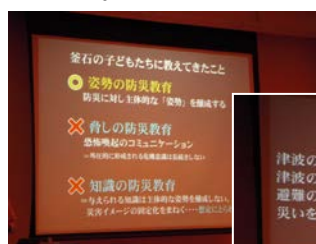
### 『最善を尽くせ！』

「ここまで来れば、もう大丈夫だろう」ではなく、そのとき出来る最善の対応行動をとれ！

### 『率先避難者たれ！』

いざという時には、まず自分が率先して避難すること。その姿を見て、他の人も避難するようになり、結果的に多くの人を救うことが可能になる！ …というものでした。

今回、今までにない想定外の巨大な津波から釜石市の子どもたちは、こうした教育が基となり、小学生1,927人、中学生999人は全員無事が確認されたそうです。まずは、自らの命は自身で守るため、この3原則に学ぶものがあると思いました。



## この数字な〜んだ？ 品川データクイズ！

# 「10」

【ヒント】「読書の秋」にぜひ活用して下さい。区内には10カ所あり、大崎にはものづくり産業やビジネスをサポートする専用のものがあります！

### 【前号の答え】

「3」は区内の消防署の数です。品川、大井、荏原消防署があり、出張所は8カ所です。品川区の消防署は東京消防庁に属し、東日本大震災の救援活動でも活躍しました。

## 節電マメ知識 ~キッチン編~

★ 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにする。



※この対策で→2%削減となります。  
(財省エネルギーセンターホームページより)

## ＜もしもの時にお役立てください＞

### ■東京アメッシュ（東京都下水道局）■

東京都下水道局は、昭和63年度より、降雨情報システム「東京アメッシュ」を導入。その後システムを更新し新「東京アメッシュ」が稼動しました。2時間前より現在までの降雨情報が確認できます。夕立ちや集中豪雨などの際にお役立て下さい。

URL：<http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>